

はぎやま

令和七年三月二十日発行

第一五八号

東京都立萩山実務学校

東村山市 萩山町一・三七・一

TEL 〇四二(三四一)六〇一一

対話(ダイアログ)

児童自立支援専門課長

「枝先が地面を這うように広がって
いてみごとでしたよね。」

総合防災訓練にお越しになった町
内会の方の言葉です。当校の土手にあ
った桜並木(ソメイヨシノ)のことを話
されていました。この訓練は当校にと
って5年ぶりの地域交流事業でもあり
ました。世界的流行り病の影響です。
前回まではその老木が数本残っていま
した。今回は倒木の恐れからすべて切
られた後でした。

この桜が植えられたのは1955
年(昭和30年)と聞かされています。
その前年から工事を始めた野球グラウ
ンドが完成した年です。工事と言って
も大人と子供の手作業だったようです。
「伐根作業が一番大変だった。」と先輩
たちがお話されていました。記念に子
供たちと植えたのがこの桜だそうです。
当校の移り変わりを70年近く見守っ
てくれていたことになります。今その
土手には桜(ソメイヨシノ)の苗が新た

な並木を作っています。2022年(令
和4年)に植えられたものです。

当校は1900年(明治33年)に
設立されました。今年で125年目に
なります。夫婦制(夫婦で子供を支援)
から今の交替制に勤務形態が替わった
のが1972年(昭和47年)です。そ
れから50年あまりが経ちました。景
気循環の法則ではコンドラチェフの波
に相当します。近年は寮舎が建て替え
られた他にもいくつかの変化が見られ
ます。

中でも支援のあり方は大きく変わ
りました。特に令和の時代に入ってか
らはそれが顕著です。

平成の時代までは「身につけること」
に支援の重きが置かれていました。し
かし今では「取り戻すこと」に重きが
置かれています。例えば「安心感」や
「主体性」がそれに当たります。もち
ろん「学力」や「生活力」などの「身
につけること」も変わらず支援してい
ます。しかし「身につける」ためには
それを載せる土台が必要です。子供た
ちが元々持っていたその土台を取り戻

すことが大切な支援になってきていま
す。

取り戻しを支援するために行われ
るようになってきたのが「対話(ダイア
ログ)」です。対話は議論とは異なり
気付きに焦点が当てられます。今では
暮らしの中で「お話お願いします(話を
聴いてください)」と職員に依頼するこ
とが増えています。また苦情解決制度
を使って定期的に管理課長にお話を聴
いてもらっているお子さんもいます。

児童相談所の担当者の方はほぼ毎月面
会に来て子供たちの話を聴いてくださ
います。このことには心から感謝申し
上げます。

対話にはいくつかの支援効果があ
ります。一つは「言語化」です。以前
は行動化していたイライラや不安を言
葉で伝えて解消できるようになります。
二つ目は「内発的動機付け」です。話
を聴いてもらっているうちに「やる気」
が湧いてくるようです。三つ目は「愛
着修復」です。話すことで不安を手離
し安心なものに変えていきます。また
聴いてくれる職員に安心感を持ちその

存在を内在化することもあります。四
つ目は「自己理解」の促進です。話し
ているうちに自分に気づいていくよう
になります。また困り感などの当事者
意識の芽生えは主体性の取戻しにもつ
ながります。

土台を取り戻すと自他ともに傷つく
ことが減っていきます。剥がし続けて
いた心のかさぶたを放っておけるよう
にもなります。やがて「身につけるこ
と」に自ら取り組めるようになってい
きます。もしかするとこの支援は「お
母さん(お父さん)・あのね・・・」の延
長なのかもしれません。

ちなみにソメイヨシノが種として認
められたのは1900年だそうです。
偶然にも当校が設立された年です。い
ずれは新たな並木の枝先が地面を這う
ように広がることでしょう。その頃には
どのような支援が行われているので
しょうか。

子供たちの人生に関わらせて頂き学
び成長・変化できたすべての皆さんに
感謝の気持ちを込めて。 弥栄

関東少年卓球大会

二寮 Kさん

昨年の十二月四日に埼玉県で卓球大会が開催されました。午前中は団体戦を行いました。九人ぐらいの人と対戦をしました。団体戦は午後の個人戦のウォーミングアップと思いながら戦うことができました。調子を整えながら試合を進めていき、団体戦は終了しました。

午後の個人戦では、トーナメント方式でした。すぐに勝敗が決まるかたちでした。皆、とてもやる気がみなぎっていました。僕は、個人戦では一回戦で負けてしまいました。

試合が終わった後は、少し悔しい気持ちがありました。練習なども頑張ることができ、卓球を楽しむことができました。



鑑賞教室

昨年の十二月八日の鑑賞教室では「ジャズ」の演奏を聴きました。

三寮 Iさん

僕は「君をのせて」という曲は知っていました。いつも聞いているのとは少し違う感じに聞こえました。アレンジがされていて「いいなあ」と思いました。

他の曲は聞いたことがなかったのですが、どれもとても良い曲でいろいろな感情がこみ上げてきました。

僕は中学三年生で受験生なので最近少し息が詰まっていました。ジャズを聞けて心が和らぎました。とても楽しい時間でした。

五寮 Nさん



今回はあまりなじみのない曲でしたが聞いていて落ち着く曲でした。「きよしこの夜」はなつかしさを感じました。色々な曲を聞いて知らない曲でも「いいなあ」という曲が見つけ、いい体験ができました。

クリスマスの時期だったので、クリスマスソングを聞くことができて楽しかったです。

そして何より一番驚いたのは楽器の値段でした。最近、楽器の値段が高くなっていることに驚きました。

僕はどちらかというと最近の曲の方が好きですが、昔の曲も好きになりました。

また、音楽の勉強を通して色々な知識を学んでいきたいと思いました。

二寮 Mさん

今回の鑑賞教室は四回目でした。

今までより僕が知っている曲が少なかったです。それでも僕は、面白く感じました。なぜなら自分が知らない曲を初めて聴いて「まだまだ、音楽には面白い曲がたくさんある」ということを知れたからです。良い鑑賞教室でした。だから、来年も来てほしいと思いました。

これからは、音楽の世界の可能性を増やしていきたいです。また学びたいと思います。



百人一首を楽しむ会

さくら寮 Tさん

私は国語の授業で、百人一首をやりました。そして、本番の「百人一首を楽しむ会」では緊張しましたが、最後まであきらめずに楽しむことができました。

それから、私の一番好きな札も取ることができてうれしかったです。

二年生の時もこの会を経験しましたが、去年の自分よりも成長できたことを感じてうれしかったです。そして、何より感じたのは、前よりも行事を楽しもうと前向きに頑張っている自分に気づきました。自己ベストを尽くせたことに充実感を感じました。



駅伝を楽しむ会

六寮 Tさん

僕は人生で初めて「駅伝」に参加しました。お正月に行われる「箱根駅伝」というイベントを見て「駅伝」というスポーツを知りました。何十キロも走るスポーツを自分がするとは思いませんでした。でも僕が実際に走った距離はおよそ一・五キロメートルでした。あまり練習ができず、そのまま本番になりました。最初はペースが分からず後ろの方でしたが、次第にペースを上げていき、気づけば何人か抜かしていました。タイムも自己ベストを出すことができました。

僕は今回一番楽しかったのは、たすきを渡す瞬間です。最後まで全力で走り次の人につなぐことに達成感を感じたからです。萩山での思い出の一つとなった駅伝でした。



剣道一級位審査

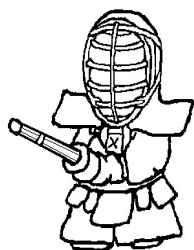
けやき寮 Oさん

僕は中学三年生の時、萩山実務校に来て、剣道という競技を始めました。

最初はあまり良い印象を持っておらず、練習はしぶしぶやっていました。しかし、練習や稽古を重ねるにつれ、剣道の奥深さや礼儀作法に興味がひかれ、自ら練習に励むようになりました。

そして今回一級審査を受審できるという機会を頂き、無事に合格することができました。僕は、審査会というのは初めてだったため、とても緊張しました。でも先生は、普段通り準備や説明をしてくれたので、十分に落ち着いて審査を受けることができました。

待ち時間は、とにかく他の人の実技を見ることに夢中で、自分が剣道という競技を楽しんでいることを実感しました。僕は自らの成長を実感できる剣道ができて嬉しかったです。



卒業生へ贈る言葉

四寮 Kさん

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。 「卒業式」を迎える皆さんにとって様々な思いがあり、長かったと感じる人もいると思います。

僕ら後輩から見ると「とても上級生らしく、頼りがいのある先輩」でした。皆さんは行事やクラブ、寮でも手本となる姿を見せてくれました。

僕も、四月から三年生になります。

皆さんが見せてくれた姿を手本として頑張っていきます。卒業生の皆さんも萩山での経験や学びを「自信」につなげてそれぞれの場所で頑張ってください。



編集後記

冬の寒さを耐え抜いた植物が一斉に花開こうとする力強さに、春の訪れを感じます。

卒業の日を迎える三年生たちは、不安を抱えつつも、萩山で頑張ってきたこと、応援してくださる方々の存在を感じていることでしょう。

一、二年生は、先輩たちのようになれるか、期待と不安が入り混じった表情ですが、職員共々力を合わせ、一緒に成長していきたいと思っています。

保護者の皆様、関係機関の皆様におかれましては、子供たちの成長を3温かく見守り、多くのご支援、ご協力をいただいたことに厚く御礼申し上げます。

編集長

自立支援課長

文書管理

課長代理（庶務担当）

事務局

統括課長代理（福祉調整担当）